

# 医師は語る



医療法人社団健翔会  
堀口医院 理事長  
堀口 裕

## 今年も自己防御力を高めましょう

新しい年を迎えることができ、この年から有り難く思います。一年間があつという間に過ぎてしましますが、これも健康であればこそ、深く感謝する次第です。重い病気を患っての一年間なれば、そうはいきません。人生で一番大事なことは、と問われれば、私は迷うことなく健康であると答えられます。心身ともに健康であれば、たとえ100歳でも人生を楽しく過ごすことができます。ときには働くことすらできます。しかし病気になるってしまったら、たとえ養うべき家族がいても働くことができませぬ。病気になる人は、運が悪かったからと思わないで下さい。また病気になるのは、年配になってからと決めつけしないで下さい。むしろ病気はとも身近なものになっていくとご理解下さい。病気をせずに、人生を思う存分に楽しく過ごせるかどうかは、自分の努力次第です。

私たちは皆、病気を防ぐための力「自己防御力」を持っています。というより授かっています。その自己防御力を維持することができれば、私たちの誰もが健康で過ごすことができます。し

かし自己防御力を維持するためには、日ごろの地まぬ努力が必要です。

自己防御力は、年齢に関係ありません。ご高齢の方だから悪く、お若い方だから良い、ということはありません。年齢がお若くても、自己防御力の悪い方は大勢おられます。大抵は、お若い時から自己防御力の悪さが続いていて、10年後、20年後に病気が起こるといふパターンが多いのです。一般的に自己防御力と病気の関係は、自己防御力が悪いほど、またその期間が長いほど、病気が早く起こります。数式で表すなら、こんな感じになります。

発病 $\propto$ 自己防御力の低下 $\times$ 年数

もし自己防御力がとても悪いと、短い年数で発病することになります。また自己防御力がとても良いと、どれだけ年数が経っても発病しません。よく言われる「ピンピンころり」を叶えるためには、ひたすら良い自己防御力を維持する以外にありません。時どき、あれほど元気にしていた人が、突然病気で倒れるなんて！という話をよく耳にしますが、その場合必ず自己防御力の低下が続いていたはず。殆どの人が勘違いされていることは、病気に至る過程では、日ごろ何らかの自覚症状があると思っていることです。残念ながら、あらゆる病気の過程において、顕著な自覚症状を伴わないのが普通です。私たちは誰も健康で長生きしたいと思っています。その希望を叶えるためには、日ごろから自己防御力をチェックして、常に合格ラインまで引き上げておきましょう。

## 還元電子治療は自動車整備と同じです

実は、最近お若い方の自己防御力がとても悪いと感じています。実際お若い方の病気も年々多くなっています。とりわけ癌は、二十歳代の方でも目につくようになりました。また肩こり症や不眠症、うつ症状、便通異常を訴える方は、とても多いです。いまや病気はご年配の方がなられるものではなく、どなたにでも起こるものになってきました。このようなことが更に進めば、もはや個人の問題だけでなく、社会や経済を衰退させることになり得ます。私たちは普段から健康維持に努力し、幸せな家庭と活力のある社会を築かなければなりません。そのために自己防御力を高めることが、何よりも重要です。

第一は、過度のストレスや過労を避けるべきです。第二は、酸化作用のある食べ物や積極的に摂り、森林浴をしながら適度に散歩やウォーキングを行うことです。第三は、日常生活に還元電子治療を取り入れることです。自己防御力の悪い方は、できるだけ速やかに改善すべきですが、実際は病気になるまで何もされずに放置されます。そこでありふれた日常生活の「コマ」として、いつも還元電子治療が行える環境があれば、自然と自己防御力が維持されるようになると思います。家庭や医療施設はもとより、学校、スポーツジム、駅や空港、車の燃料ステーション、ビジネス・観光ホテル、そしてショッピングセンターなど、行った先々で還元電子治療が受けられるようになることが望ましいです。



現在はご自分の還元電子治療を出張先や旅先へ持参しています。時には海外までも持参される方がおられます。身体に電子を与えることは、例えて言えば自動車の整備を行うのと同じことです。自動車が故障することなく走り続けるには、日々の整備が必要です。人の身体も電子を与えて整備しておかないと、故障(病気)して動けなくなります。電子を与えることは、直に病気を治すものではありませんが、病気を防ぐためには必須のものであります。しかしその努力は個人がしなければなりません。病気を防げるかどうかは皆さん次第です。

### 【堀口裕先生プロフィール】

北海道出身。川崎医科大学医学部卒業。一九九二年香川県坂出市で医療法人社団健翔会堀口医院を開院。現在堀口医院理事長兼院長を務める。世界で初めて細胞の中を調べる「細胞内検査」を独自に考案され、世界各国で特許を取得。またその細胞のコンディションを取り戻すための「還元電子治療」を独自に開発。二〇一二年五月世界中医薬学会連合会、自然療法研究専門委員会、副会長に就任。現在は、病気の根を調べる「自己防御力診断」と病気の根を治療する「還元電子治療」を駆使し、全国で一万六千人以上の患者の治療に取り組み傍ら、根元の医療と呼ばれる新しい医療を推進し、全国で講演活動を行っている。